

2022年9月20日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：COVID-19 重症肺炎対してセボフレンを用いて長期鎮静を行った症例における肝障害発症の検討

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2020年4月から2023年の3月までの藤田医科大学病院ICUに入室されたCOVID-19重症肺炎と診断された患者さん。

2. 研究目的・方法・研究期間

藤田医科大学病院ではCOVID-19感染拡大によるプロポフォール供給制限以降、吸入麻酔薬投与デバイス「アナコンダ」を用いた鎮静が増加している。COVID-19重症肺炎にアナコンダを用いて鎮静を行う症例では、長期使用となることが多いが、セボフルランの長期投与に関する安全性を評価した報告は少ない。そこで今回、セボフレンを用いて長期間鎮静を行ったCOVID-19重症肺炎症例における肝障害の出現の有無を明らかにするため、後ろ向き調査研究を行った。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究の資金等と利益相反（企業等との利害関係）

使用する研究費は、カルテ調査のため生じません。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利

害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

6. 研究組織

研究責任者

藤田医科大学 臨床薬剤科 教授 山田成樹

研究分担者

藤田医科大学病院 薬剤部

平岩 歳久

7. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 臨床薬剤科 教授

担当者：山田成樹

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2111

e-mail: syamada@fujita-hu.ac.jp